



第 110号

編集
代田・九条の会
小澤 清子
伊東 宏

代田・九条の会News

2018/1/14

itohiroshi1007@gmail.com

ホームページ : <http://www.daita-9jo.sakuraweb.com/>

2018年を迎えて

昨年10月の総選挙の余勢をかって、安倍首相ははっきりと九条改憲の目標を定めました。

そして、1月4日の年頭会見で「憲法のあるべき姿を国民に提示し、議論を一層深めていく」と述べ、国会発議に向けた意欲を鮮明にしました。

自民党は昨年末、9条への自衛隊明記・緊急事態条項の創設・参院選の合区解消・教育無償化の改憲4項目を示しましたが、本命は年来宿願の9条改憲にあります。

安倍改憲の目指すスケジュールは、1月からの通常国会で改憲を発議し、国民投票を2019年初頭までに行い、2020年東京オリンピックの年に改正憲法施行に持ち込みたいとの目算です。

いよいよ世界に誇る平和憲法を守るために結成した九条の会は、安倍9条改憲と正面から対峙することになりました。

そこで、九条の会も参加し、昨年9月に発足した「安倍9条改憲NO!全国市民アクション」が提起した3000万署名(請願事項①憲法9条を変えないください。②憲法の平和・人権・民主主義が生かされる政治を実現してください)を本年の5月まで進め、国民の意思がどこにあるかを国会に示して改憲発議を阻止し、国民投票を断念させて平和憲法を守りましょう。そして安倍政権を倒して、改憲の息の根を止めましょう。

このことを、2018年の年頭に当たっての私たちの決意表明にしたいと思います。(代表:野間口 至)

2018年活動計画

1. 私たちが住み、暮らし、働いている代田に「日本国憲法9条」を守り生かしていく為に、「9条の会」の賛同者を広げます。今年は、憲法9条をめぐる正念場の年です。「安倍9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署名」(3千万署名)に取り組みます。

代田・九条の会の目標は3千名です。下北沢オオゼキ前や、梅まつりや梅ヶ丘フリーマーケットなどでの署名宣伝活動を行います。また、友人・知人に協力をお願いしましょう。

2. 世話人会事務局会議、ニュースの発行・配布は、これまで通り毎月一回行います。高齢化や病気などにより、活動ができにくくなっています。事務局員や配布体制を強化したいと思いますのでご協力をお願いします。

3. つどいなどの企画

① 大きなつどいはこれまでと同様、春と秋の2回取り組みます。

*5月12日(土)PM「憲法記念日によせて」

憲法9条・平和に関する講演と文化企画。

*11月10日(土)PM「10周年のつどい」

憲法9条・平和に関する講演と文化企画

② 小規模の学習会・つどいなどの開催

*1月14日(日)新年会 活動計画の検討

*4月7日(土)又は8日(日)戦跡めぐり

*8月11日(土)「終戦記念日によせて」

③ 財政

収入: つどいなどの参加費、募金、

9条りんごの販売 など

支出: 講演料、出演料、会場費、資料代、切手代 など

④ 全国・東京・世田谷の九条の会や

平和を守る団体と対等平等の立場で協力して活動を進めます。

*全国: 4月7日(土)「九条の会全国集会—3千万人署名前進のために」: 北トピア

*世田谷: 1月16日(火)午後6時30分~「キックオフ集会」尾山台地区会館

(世話人会・事務局 小澤 清子)



1月14日: 署名活動
小田急線・梅丘駅前にて

2018年 新年にあたって

呼びかけ人・事務局メンバー メッセージ

憲法九条は、人類の紀元前からの悲願が実ったものとして私達は『あたらしい憲法のはなし(文部省刊)』の生き証人です」とアピールして生物学的条件の一頁のみで昨年5月解散せざるを得なかった「国民学校一年生の会」その人達より2年長り私としては、このアピールに全く同感です。2018年には更に安倍改憲の動きが強まる逆コースに抗して、命ある限り戦争を知らない世代に訴之行く覚悟です。(代田5丁目野間05)



二〇一八年に寄せて

友人、知人、隣人、見知らぬ人にも、「平和を守ってきた憲法を変えてもいいのですか？ 変えたらどんなことになるか考えたことがありますか？」と一人一人に聞きたい。そう思うほど切羽詰まった気分です。やってくる改憲勢力を押し戻すには、一人一人に問いかけるしか方法はないと思うのです。

日暮 恵子

私は、敗戦の数ヶ月前にこの世に生をうけ、憲法に守られて、成長、学び、働き、生活してきました。今、再び軍靴が忍び寄り、戦後70年余の平和の礎が壊されようとしています。

昨年生まれた孫娘に、憲法9条を未来へのプレゼントとして、無傷で手渡すよう奮闘したいと思っています。

小澤 清子

折々の世相あれど
我が道は一本道にて
それを歩める
まなみ

2017.12.22.

なべ おさみ

年の初めに

「九条の会」が一丸となって、その真価を発揮せねばならない時を迎えました。

世論は「九条改憲に反対」、「改憲を急ぐ必要ない」が過半です。一人ひとりの声を3000万人署名にくみあげましょう。これこそが、改憲の提案も発議も押しとどめる力です。

坂本 功

この正月、4本の「二等兵物語」を観ました。中隊は恐ろしい、外には敵が、内にはすぐ力づくの上官及び古参兵が。生きている心地がないと思います。

どんなことがあっても平和を守り、次代の人たちに無傷のまま渡さなければいけないのだと思います。

今年はまだコスタリカに行ってみたいと思います。

湯沢 勉

昨年ほど「核」が身近に迫ったことはなかったと思う。

力任せに相手をねじ伏せようとする傲りが極に達し、その先は人類の滅亡しか見えてこないことに気が付かない安倍政権の愚かさに、もっと大きな声でNO！を突き付けなければ…と改めて思う新年。

想像力の欠如の著しい頭脳に何かいい薬はないですか？

横川 功

お問い合わせ：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。
また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。



明けましておめでとうございます。
 昨年の衆議院選挙では、「市民と野党の共闘」体制を何としても潰そうとする全面的な攻撃が加えられました。しかし、幸いにして市民等の良識により、これを許しませんでした。とはいえ、「小選挙区制のマジック」も作用し、国会では「改憲支持議員」が大多数を占める状況に至ってしまいました。

いま、日本は「平和を守る問題」で歴史的岐路に立っていると思います。私も、皆さんと一緒に「安倍九条改憲NO」の運動を広め、強めるため頑張る決意を固めています。
 二〇一八年 元旦 俣野 景彦

明けましておめでとう
 ございます。

安倍首相は今年国会で
 改憲案を強硬に押し進め
 たい。
 九条改憲を止め、大規模な
 運動にしたい。300万署名
 を集めたい。目標に
 したいと思っています。

萱野 幸子

2018 新年快樂

昨年11月4日の土曜午後、北区の「北とぴあ」で「東アジア文化フェスタ」が開かれ、会場に入りきれないほどの盛況ぶりでした。

日・中・韓・在日朝鮮のアーティストが一堂に会して、和太鼓、太極拳、チャンゴ、舞踊、残留孤児による寸劇など盛り沢山。

東アジア情勢が厳しい中、このように独自の文化を披露したことは、“草の根の交流”として意義深いものでした。今年も一層東アジアの平和のためにがんばりたいと思っています。

荒川 興道

憲法が公布された年はわたしの生まれた年でもあります。それから72年、又成年を迎えました。この間、日本は戦争をすることはありませんでした。戦争を放棄し、軍隊を持たないと決めた憲法があったからだと思います。

この憲法に、軍隊（自衛隊）を書き込み、「国防」の任務を与えてしまえば、いつでもどこでも戦争に参加できるようになってしまいます。北朝鮮情勢が厳しい、中国の動きがおかしい、こんな時こそ、憲法前文と9条の精神を発揮して、平和のうちに解決していかうとすることこそが大事だと思います。 伊東 宏



～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
 「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～
 +++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++

映画『ハトは泣いている』と白井聡さんの講演

(12月17日日比谷図書文化会館にて)

映画は2014年に起こった二つの事件を1年間追ったドキュメンタリー。一つは都美術館が、右翼に政権批判と脅しを受けた彫刻作品の撤去を求めた事件、もう一つはさいたま市の公民館が月報に俳句『梅雨空に九条守れの女性デモ』を掲載拒否した事件。

前者は作品の一部を訂正し展示。後日この作品はドイツ、ベルリンのギャラリーから招請され海を渡り注目を集める。ドイツの人々は作品と事件に対し表現の自由と人権の侵害を危惧し、先の戦争に対しても直接の関与はなくても責任を重く受けとめ、その記憶を繋げていく意識を強く持っていることが描かれる。ここが印象的でした。

後者は公民館を管轄する市教委は市民の激しい追及にあうが「公平中立の立場」と答えるのみで思考停止に陥っている空疎さがありありと浮き彫りにされて、あきれて笑うよりほかないという感じでした。訴訟に持ち込む市民の勢いある行動には感銘を受けました。

この映画を受けて「永続敗戦論」の著者、白井さんは冒頭「木っ端役人は脳(能?)がない。公民館に思想はない。この市教委、館員は恥！」と切り捨て聴衆を笑わせ、戦前の特高警察のようなハードな組織がないのに自主規制、奴隷化は戦争に突き進む時代に強く働くと述べる。ドイツは二度の大戦で敗戦をきちんと認識し深く反省しその記憶を根付かせている。日本は敗戦を終戦と言いくるめ敗戦を否認し、記憶から消し去ろうという操作をしている。そうしたことから戦前の土壌が沁みついていて、権力者に付度する意思が働き、このような事件が多く起きるのだと。ごく短くまとめるとこのように私は受けとめました。

(代田5丁目・日暮 恵子)

集会等の紹介

「安倍9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署名」(3000万署名)

午前11時~12時

2月10日(土)梅ヶ丘・梅祭り会場周辺

3月11日(日)梅ヶ丘・駅前

午後3時~4時

1月27日(土)下北沢・オオゼキ前

2月24日(土)下北沢・オオゼキ前

3月24日(土)下北沢・オオゼキ前

2月15日(木) 午後4時半~ 憲法学習会

講演:「安倍改憲の動向と、わたしたちの課題」 高田健さん

会場:東京土建世田谷会館(上馬5-34-16 バス「駒留」)

主催:戦争させない!九条壊すな!世田谷連絡会

2月18日(日) 午後1時~3時

「安倍9条改憲NO!せたがや」署名行動 三軒茶屋ホコ天

3月18日(日) 午前10時~

「戦争させない!9条壊すな!世田谷区民集会&ピースパレード」

会場:世田谷区役所前広場

主催:戦争させない!九条壊すな!世田谷連絡会

3月24日(土) 午後2時~5時 九条科学者の会・設立13周年記念講演会

一改憲構想とアベノミクスを読み解く一

資料代:500円

講演:「改憲案の本質と九条を守る運動」 小森 陽一氏(東大教授・九条の会事務局長)

講演:「アベノミクスの5年とこれから」 金子 勝氏(慶大教授)

会場:明治大学駿河台キャンパス・リバティタワー(申請中)

(JR「お茶の水駅下車、徒歩5分)



日本国憲法 (抜粋)

前文 日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてある国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。